

# 着床に適した時期と環境を知る「次世代の検査」

## アイジエノミクス ERA、EMMA & ALICE

### <世界トップクラスの子宮内膜・着床専門家>

#### カルロス・シモン教授プロフィール

1961年 スペイン生まれ  
 生殖内分泌専門医および研究者  
 2007年 バレンシア大学医学部産婦人科教授  
 2013年 スタンフォード大学医学部産婦人科教授  
 2009年より Igenomix社の最高科学責任者  
 2011年 Medical InvestigationにてPrize Jaime I 受賞  
 2016年 ASRM Distinguished Research Award 受賞



最先端技術の検査が、日本の品質でさらに進化します

アイジエノミクスは、スペインのバレンシアに本社のある検査器メーカーで、米国やイギリスなど世界13か所（2017年12月現在）に自社検査施設をもつ企業です。

そして、2017年3月に、アジア・オセアニア地域を統括する機関として、東京・中央区に株式会社アイジエノミクス・ジャパンを設立しました。この目的は、アジア諸国、特に日本を中心に検査をさらに提供し、不妊治療の役に立つことと提供です。

では、どのように役に立つのでしょうか。

そもそもアイジエノミクスという企業は、世界的に注目されている研究者や大学、企業との共同研究によって得られたデータを元に、独自の技術で医療現場に『着床時期の適正』を検査するシステムを提供するとともに『子宮内膜着床能』の研究を進めています。それが分かれば、体外

受精で着床にいたらない夫婦に良い結果をもたらすからです。そして、これら開発功績は高く評価され、最高技術責任者のカルロス・シモン教授は2016年にASRMでDistinguished Research Awardを受賞し、ESHRE2017のヨーロッパ生殖医学会の開会基調講演者として招待されました。

同年11月、日本の生殖医学会においても、世界的なランダム化比較試験で有効性が確認されている最先端の検査として海外招聘講演「着床前の胚はどのように母体と対話するのか―着床と成人病の関係―」に招待され、高い評価を得ました。

#### 1回の検査で子宮内膜の検査が可能に！

2018年春、アイジエノミクスは最新検査技術により、ERA(子宮内膜着床能検査)、EMMA(子宮内における菌の環境)とALICE(子宮内膜感染症検査)が1回の検査で同時に結果が分かるようになります。

(図1)

#### ERA検査



着床のタイミングには個人差があります。ERA検査の目的は着床の窓を見つけ、各患者さんの移植時期を窓の時期に合わせるように調整します。

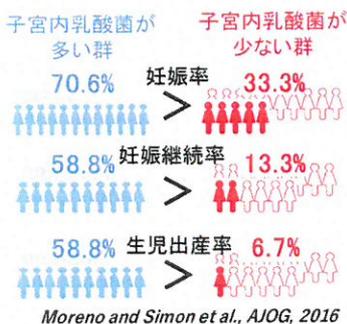
#### EMMA検査

同社の研究結果により、子宮内の乳酸菌が多い方が妊娠率、妊娠継続率、生児出生率のいずれにおいても高いことが示されました。

#### ALICE検査

子宮内膜炎の原因となる菌を明らかにします。

(図2)



<子宮が秘める謎を解き明かす>

- ERA: 子宮内膜着床能検査
- EMMA: 子宮内マイクロバイーム検査
- ALICE: 子宮内感染症検査

- ➡ 3つの検査を1度の生検で解析!
- ➡ 2週間以内に結果を報告!



このアイジェノミクス、まずは不妊治療にかかわる遺伝子検査を日本及びアジアで普及させ、より多くの不妊症・不育症の患者さんを助けることをミッションとし、既存のクリニックを通して患者さんを第一優先に、様々な検査を提供しています。

**患者さんを第1優先に**

これらERAとEMMAとALICEの3検査は妊娠の効率を高めることを目的とし、その結果として経済性も高められるでしょう。

ALICE (アリス) 検査では、子宮内における感染症に関する菌がないかどうかを調べます。ERA検査によって、着床の窓の時期を特定し、EMMAとALICEの両検査によって、子宮内において着床に最もよい環境かどうかを確認します。

ERA (エラ) 検査では、最適な着床の時期である「着床の窓」を特定し、大切な胚を子宮に戻す時間を定めることができます(図1参照)。EMMA (エム) 検査では、子宮内に常在している菌を調べ、その中でも着床の手助けをする乳酸菌の割合が9割以上あるかどうかを調べます。子宮内における乳酸菌の割合が9割以上存在することで、妊娠率、継続妊娠率および生児出生率が向上することがわかっています(図2参照)。



アイジェノミクスのスタッフは、大手外資系の遺伝子検査機器メーカー出身者が多く、「患者さんのために尽くす」という信念を社員全員が持っているようです。

そのために、クリニックなど医療機関を通して、患者さんの思いに添えていく努力を続けています。

**チームの思いは赤ちゃんを授かりたいと願う患者さんのため**

それには、Mitochondrial Score 検査を主力サービスとし、カプルの遺伝子疾患保因者検査 (CGT) や残留受胎生成物検査 (POC)、また海外向けには着床前診断 (PGD) や着床前異数性検査 (PGTA) などがあります。



株式会社アイジェノミクス・ジャパン

東京都中央区日本橋人形町2-7-10 エル人形町 4F

TEL : 03-6667-0456

http://www.igenomix.jp



日本法人代表 張 博文 (Andy Chang) プロフィール

1999年 清華大学 (台湾) 卒業  
2005年 京都大学大学院にて博士号を取得、Meryland University (米国) Medical School の研究員に就任  
2011年 マイクロアレイの最大手 Affymetrix 社にて技術部長を経て、APAC 事業開発ディレクターに就任  
2017年 Temple University Japan において MBA 取得 (首席)  
2017年 Igenomix Japan 日本法人代表 兼 APAC 事業開発ディレクター